

## 編機の調整の負担が減りました。

川田ニット株式会社 様（富山県南砺市）

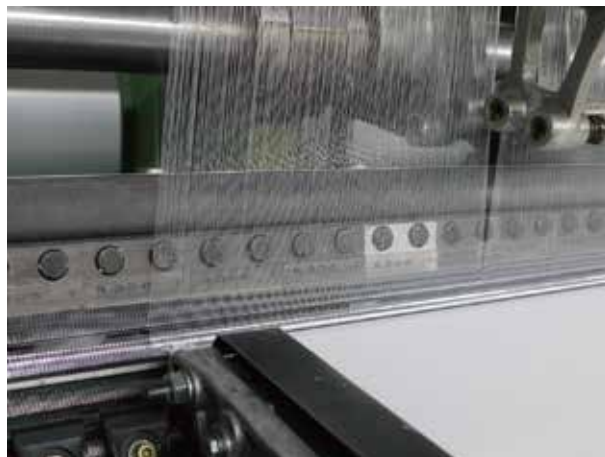
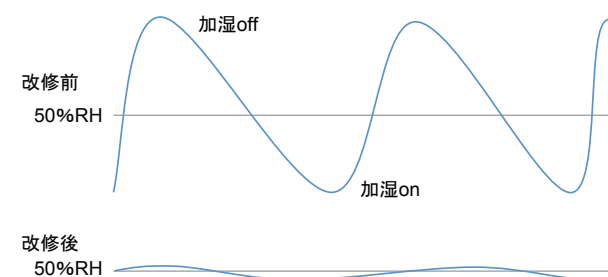
“編機（あみき）の金属部品が非常に細かく、温湿度の変化に敏感に反応します。温湿度が変化すると金属の膨張／収縮により、その都度、編機の調整が必要となります。空調、照明の省エネ改修に合わせてピーエス加湿器を採用してから、工場全体の湿度が安定し調整の手間が本当に少なくなりました。”  
（滝谷和繁 工場長）

### 発熱の多い空間に、安定した湿度を

伸縮性や形状記憶性に優れた、経編ニット生地「トリコット」を製造する南砺市の川田ニット様は創業107年。工場の省エネ改修にあたり、ピーエスの加湿器モノフォグMFを採用頂きました。工場内は糸が乾燥して静電気によって絡まないように、50%を目標に加湿をしています。

改修前は、空調機内蔵の大型の加湿器をON/OFF制御をしていたため、湿度が上がったり下がったりを波のように繰り返すような不安定な環境でした。現在は、MF独自の運転制御方法により、ほぼ50%RHと、安定した湿度を保つことができます。

工場は24時間操業ですが、MFは少ない電気容量で大きな加湿量が得られるので省エネです。また、純水をミクロン粒子にして噴霧するので、細霧冷房の効果もあり、発熱量の多い生産現場の冷房負荷削減の効果もあります。



編機の細かい部品が精密な編物を可能にしています。



空調の吹き出し空気に加湿を乗せて、室内に届けることで、加湿用ファンを削減。加湿水の生地への付着を防止します。

“空気中には編機から揮発した油があるので、もしそれが加湿水によって生地についてしまうと、大量の不良品が出てしまいます。そのため、加湿機選定の際には、水が布につかないかどうか、霧の細かさや、設置位置を慎重に吟味しました。”  
（滝谷和繁 工場長）

納入 : 2016年1月  
導入製品: 一流体加湿システム モノフォグ MF  
ノズルタイプ Flex

用途 : 糸の静電気防止の加湿、編機の加湿  
設計加湿量: 262kg/h